

所得の最大化がシミュレートできるモモの品種組合せモデル作成支援ツール

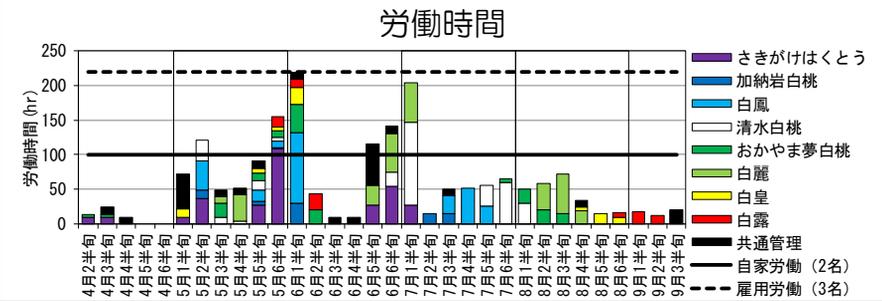


入力

設定条件下で所得を最大化するモモの品種組み合わせモデル
面積及び所得

品種	さきがけはくとう	加納岩白桃	白鳳	清水白桃	おかやま夢白桃	白麗	白皇	白露	合計	
栽培面積	a	18	5	17	20	10	19	5	6	100
粗収入	2,462	694	2,614	3,791	2,162	3,992	846	1,153	17,713	
種苗費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肥料費	68	19	64	75	44	85	22	27	404	
農薬費	103	29	98	115	57	109	29	34	574	
その他	1,222	340	1,186	1,380	775	1,392	335	449	7,079	
小計	1,393	388	1,348	1,570	876	1,586	386	510	8,057	
雇用費(延べ48日)									460	
減価償却・修繕費									3,150	
合計									11,667	
農業所得									6,046	

- 必ず設定する条件—
- 経営面積
 - 自家労働力
 - 雇用労働力
 - 雇用労賃
- 任意で設定する条件—
- 品種ごとの作付け上限及び下限面積
 - 早中晩生ごとの作付け上限及び下限面積



開発のねらい

県産桃のオリジナル新品種「さきがけはくとう」（早生）、「白皇」（晩生）、「白露」（晩生）により、白桃の出荷期間を拡大することが可能になりました。そこで、オリジナル新品種や既存の品種を組み合わせた収支や労働時間等、経営効果をシミュレートするためのツールを作りました。

新技術の概要

- 経営面積、自家労働力、雇用労働力及び雇用労賃を入力することで、所得が最大となる品種の組合せモデルを提示することができるツールです。
- 提示されたモデルは、品種ごとの栽培面積、農業所得、労働時間を確認することができます。
- さらに、労働分散を考慮したモデルや規模拡大・改植による経営効果をシミュレートできるよう、品種ごとや早中晩生ごとの上下限面積を設定することができます。

活用場面

本ツールを用いて経営シミュレーションや作付を計画することで、県産桃のオリジナル新品種の作付けが拡大し、桃栽培農家の経営安定や産地の活性化につながります。